

生活面

<p>良い面</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や目標を持っているという質問に肯定的な意見が多い。</li> <li>・困りごとや不安なことがあるときに、先生や学校の大人にいつでも相談できるかという質問に肯定的な意見が多い。</li> <li>・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたかという項目で肯定的な意見が多い。</li> <li>・授業中にタブレットを使用して学習をすることは役に立つと実感している生徒が多く、家庭学習でタブレットを使用する生徒も多い。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)という項目では、1時間よりも少ない生徒が50%を超えていた。(5月の段階で)</li> <li>→テストの結果と照らし合わせると、休日の学習時間では、2時間以上3時間未満の学習時間が効果的なのではないかと考えられる。</li> <li>休日もタブレットを活用している生徒が多いので、タブレットでの課題や宿題について学校で見直していきたい。</li> <li>・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)の項目で肯定的な意見が少ない。</li> <li>→学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますかというような、自身の課題を見直して解決したり、そのことについて話し合ったりする機会が少ないと回答する生徒が多かったので、今後の授業やクラス活動でさらに取り入れていきたい。</li> </ul>

国語

<p>《成果と課題》</p>	<p><b>【成果】</b>                  語句の意味を答える問題の正答率が府、全国平均を超えている。授業の導入として、漢字の読み書き・語句・文法・歴史的仮名遣いなどのドリルを継続して行った成果が出ている。</p> <p><b>【課題】</b>                  本文や資料を読み解く力が課題であり、正答率が低く、無回答率も高くなっている。また、資料をもとに自分の経験や知識に触れながら記述する問題や、二つの資料を比較し、違いや同じところについて述べる問題等は特に正答率が低く無回答率が高くなっている。</p>
<p>《指導の重点》</p>	<p>読解力を高めるために、基礎的な知識(漢字の読み書きや語句の意味、文法など)を定着させるとともに、文章の内容や筆者の主張をまとめる機会を多く作る。また、文章を読み自分の意見や感じたことを記述させる習慣をつくり、文章を読み取る力、書く力を育んでいきたい。</p>

## 数学

<p>《成果と課題》</p>	<p>【成果】</p> <p>どの学年でも、授業の最初に基礎的な計算問題に取り組んできたので、比較的短文の基本問題はその成果が出ている。また関数の問題に関しては、他の領域と比べて全国・府平均との差が少なくなっており、授業で様々な関数を利用し活用する問題を取り入れた成果と思われる。</p> <p>【課題】</p> <p>問題の内容や何を解く・考えるのかについて長い文章で説明されている問題の正答率が低い。また、「データの活用」の分野での正答率が低い。文章を読み理解する力や、データを読み取り、整理する力(主に箱ひげ図を利用した内容)が課題である。授業やワーク、テストでも経験したことがある形式の問題ではあるが、その理解度・定着度や初見の問題を読み、求められているものを理解することや必要な知識や技能を考える力も今後の課題と思われる。</p>
<p>《指導の重点》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業開始時に行っている基礎的な計算問題の演習は続けていく。</li> <li>・ 授業内やテストでは、「文字式を用いた説明」「条件をもとにした証明」「文章をしっかり読み解かせる問題」を意識的に出題し、粘り強く問題に取り組む力を育てたい。</li> <li>・ 確率の内容だけでなく、「データの活用」において、データの読み取りや整理、四分位範囲の意味や箱ひげ図の活用に重点をおいて指導する。</li> </ul>

## 英語

<p>《成果と課題》</p>	<p>【成果】</p> <p>毎回授業の初めにリスニングを取り組ませているので、全国平均や大阪府の平均より正答率が高い結果があらわれている。また、無回答の率が低く、意欲的に取り組んだことが見受けられる。</p> <p>【課題】</p> <p>データやポスターを活用した、情報を正しく読み取り答えを導き出すような問題が苦手な傾向がみられる。入試対策だけでなく、読み取る力を伸ばすことも今後の課題である。日頃の授業や定期テストにおいても、そのような要素を含めて取り組んでいきたい。</p>
<p>《指導の重点》</p>	<p>3年生においては様々な傾向に対応できるように、授業の中でも情報活用の問題や、書く力、自分の考えを表現する力などを養うために、帯学習で力をつけるように取り組んでいきたいと考えている。</p>